

果樹病虫害発生予察調査結果（7／25調査分）
（三条、加茂、田上地域）

7月25日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- ハダニ類・サビダニ類の発生が確認されています。高温・乾燥状態で増加しやすく、草刈り等で樹上に上がりますので、寄生状況を観察し発生初期の防除に留意しましょう。
- ナシヒメシクイによるモモ新梢の芯折れが確認されています。今後、ナシ果実へ加害が移行していくため、収穫前日数や近接園の品種に注意しつつ、JAの防除情報に従って防除を行いましょ

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- 一部園地で黒星病の発病が確認されています。発病の多い園地では、気温が低下する9月以降に拡大する恐れがあります。翌年の感染源を減らすために、り病部位の切除や収穫後秋期防除を行いましょ
- セイヨウナシ褐色斑点病の発病が新梢先端部で増加しています。「ほうき枝」となるような徒長枝が多いと拡大する恐れがありますので、枝が混まないよう早期にせん除しましょう。また、SSの走行路変更や風量を落とさない等散布ムラの解消に留意し、引き続きり病葉は見つけ次第、摘葉して園外へ搬出し、処分しましょ

（モモ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- せん孔細菌病は、葉で発病が確認されています。中・晩生品種で

の果実発病を防ぐため、引き続き風対策を行うとともに病葉・夏型枝病斑は摘葉・切除して園外へ搬出し、処分しましょう。

- 一部園地で灰星病の発病果が確認されています。発病果は発見次第取り除いて園外へ搬出し、処分しましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房を調査しました。

- 一部園地でハダニ類の発生が確認されました。なお、今回調査で病害は確認されませんでした。引き続きべと病や褐斑病に注意し、り病部位の切除や適期防除に留意しましょう。

なお、これに関連した病虫害や生育の情報等については、農業普及指導センターよりJAを通じて送付される予定です。

- ◇ 次回調査は8月10日(水)を予定しています。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020